

活力あるまちづくりを目指して

山田 繁子 議員



問 高齢者における交通事故防止を
目指した取り組みについて。

答 昨年の警察庁の発表では、自動車
免許証を返納した人は全国で最多の
42万人、その内75歳以上の方が6割
で25万2677人で制度導入以降最
多であったとのことでした。高齢者
による認知機能の衰えによる運転操
作ミスが原因での自動車事故が多く
起きている。高齢者の自主的な返納
を促進して「運転経歴証明書」は運
転免許返納者に対して、バスやタク
シーの割引券等を配るサービスをし
ている。栃木県小山市では自動車の
運転免許を返納した65歳以上の市民
を対象に市のコミュニティバスの利
用を終身無料化することを決めている。
増加傾向にある高齢者ドライ
バーの交通事故対策を取っている。

本市では、現在返納者への優遇措置
として東金警察署とタクシー事業会
社との協定により、運転経歴証明書
を提示の場合は1割引きとなっている。
また69歳以上の運転免許証返納
者を対象に、メーカー優待証が小湊
バスで発行され半額で利用できます
が、市民への周知を広報等利用して
しっかりと市民に伝えて欲しいと思
うがいかがか。また本市独自の取
組みをお聞かせください。

答 本市のコミュニティバスにつき
ましては、利用者の利便性の向上と
高齢者の運転免許の自主返納を促す
ことを目的に、4月1日から運転経
歴証明書の提示により半額にする。
市のホームページや企画政策課窓口、
広報紙等で制度の浸透を図る。

問 自転車による事故から高齢者の
生命を守る取り組みについて、①自
転車用ヘルメットの補助制度の導入
について、②交通安全講習や広報等
を活用した事故等防止策の更なる取
り組みについて。
答 補助制度導入については、現在
のところは考えていないが、ヘルメツ

ト着用については、推奨していき
たい。東金警察署や東金交通安全協会
などと老人クラブを訪問し、高齢者
の交通事故防止に努めている。今後
は、高齢者が参加するイベントでの
周知活動にも取り組んでいきたい。

問 にぎわいのある街づくりを目指
してオープンガーデン「花フレ
ンド」と連携し、市の活性化を目指
した取り組みはいかがか。
答 住民協働事業終了後も、活動を
支援している。今後もオープンガー
デンの活動が市の活性化に繋がるも
のと考え、できることの支援をして
いきたい。新年度、開設を予定して
いる市民活動支援センターにおいて
市民活動を行う団体等からの相談が
あれば、関係機関や関係課と連携が
図れるよう助言する。

問 本市の市民活動支援センターは
どのように運営していかれるのか。
答 地域づくり課が所管し平成30年
4月1日に開設を予定。市民活動に
おける相談及び助言また情報の収集
や提供などを行う。活動場所は中央
公民館相談室を週1回利用できる。
相談室は約40㎡、20程度の利用が
可能である。広報活動として、中央
公民館及び地域づくり課に、各団体
の活動内容を提示するスペースや
パンフレットスタンドを設置する。

市民の自発的で営利を目的としない
社会に貢献する活動を支援すること
を目的としている。
その他市長の事務方針より質問し
ました。



オープンガーデンへの支援を

エアコン設置は待ったなしの課題
公務員などは憲法遵守義務がある

佐久間 久良 議員



政府は、待機児童解消を2017
年度末としてきたが、目標を3年先
送りし、2020年度末とした。ま
た、安倍首相は、昨年10月に「全
ての子どものための幼稚園や保育園の費
用を無償化する」としながらも、一
番保育料負担が重いゼロ歳から2歳
児や無認可保育施設の一部は無償化
の対象ではないという。

問 待機児童の問題は、働く保護者
にとって深刻な大問題。一日も早い
待機児童の解消を実現させなければ
ならない。いつまでに解決するの
か。
答 整備を進めている児童福祉施設
内の小規模保育の利用定員はゼロ歳
児6人、1歳児13人の合計19人。ま
た、増穂保育所の定員を90人から93
人に変更する予定。両施設を合わせ
ると、定員は112人となり、22人
増加します。新施設開設で待機児童
が解消するか、現時点では不透明で
すが、待機児童数は年々減少してお
り、出生数の減少や満2歳までの育
児休業の延長が可能となったことか
ら、子どもの数や保育ニーズを把握
しながら、国の待機児童解消の目標
としている平成32年度を目指し、引
き続き鋭意努力していきます。

問 第1保育所の閉鎖等により、公
立の保育所の定員は減ってきている。
公立の保育所を新たに建設していく
べきではないか。要望する。
答 次に、小・中学校の普通教室にエ
アコン設置について伺いたい。

エアコンの設置は、市立の幼稚園
を含む小・中学校に、2018年度
から2022年度までの6年間で随
時整備していくという。校長先生な
どに何うと「エアコンを設置は本
当にありがたい」しかし「一年でも早
くお願いしたい。これが本音だ」と
いう答えである。子どもたちは、一
年、一年、進級し、卒業していく。待
たないだ。6年というのは長すぎる
のではないのか。

答 整備計画を立てるあたり、厳し
い財政状況や国庫補助金の見直しな
どを考慮し、6年間で計画期間とし
ました。導入にあたり、年少世代を
優先に、幼稚園、小学校、中学校の
順に整備することとし、さらに、小
中学校については、児童、生徒数の
多い学校から進めてたいと考えてい
ます。

問 財政的な問題は、大人の都合で
あって、子どもの都合ではない。子
育てという観点からも、一年でも早
く、ぜひともお願いしたい。
国民健康保険は、子どもを含めて、
世帯内の加入者に応じて賦課される
均等割があるため、「子育て支援に
逆行する」と改善を求める声があ
がっている。均等割の軽減について
お答えください。

答 子どもを対象とする均等割額の
減免は、子育て支援策として、国の
責任で制度化すべきものと考えてい
ます。今後の国の動向を注視して行
きたいと思っております。

問 実際、子育てが大変な世帯が多
い。そこに目を向ける必要が、市と
してもあるのではないのか。
国民健康保険や生活保護などの制
度は、当然のごとく社会保障の制度
である。社会保障制度は、憲法25条
の生存権に基づくものである。25条
では、国民に最低限の生活を保障
している。また、憲法は、国会議員
や公務員など、公務につく人たちに
対して、憲法の遵守義務を99条で求
めている。国保法44条に基づく窓口
減免、77条の申請減免、または生活
保護申請など、受ける権利がある方
に対して、この制度を適用させない
というような事態が、たまに見受け
られることがある。これは明確な憲
法違反。このことを強く肝に銘じて
いただきたい。そして、日々の職責
にあたっていただくことを強く、強
く求めたい。

問 労働法や労働者の権利について
は、いつ教えていますか。
答 中学3年生、社会科の公民的分
野、生産と労働の単元の中で労働者
の権利、労働三法、労働条件の改善、
多様な雇用形態、日本の労働の課題
などについて知識の習得を図ってい
ます。

(1) 職場体験学習について
問 国会で労働法制が審議されてい
ます。裁量労働制を拡大して残業代
ゼロ法と呼ばれるような労働法制度
を導入しようとしています。さて、
本市で、中学2年生に実施している
職場体験学習の目的は何ですか。
答 本市では、望ましい勤労観、職
業観を育むため、幼稚園から発達の
段階に応じたキャリア教育を推進し
ており、その中で重要となる活動が
小学6年生における職場見学と、中
学2年生における職場体験となりま
す。働くことの喜びや厳しさを実感
することをはじめ、将来について考
えるきっかけとすること、新しい自
分を発見することや、地域について
改めて考えることなどを狙いとして
います。

問 労働法や労働者の権利について
は、いつ教えていますか。
答 中学3年生、社会科の公民的分
野、生産と労働の単元の中で労働者
の権利、労働三法、労働条件の改善、
多様な雇用形態、日本の労働の課題
などについて知識の習得を図ってい
ます。

問 大綱中学校の職場体験マニユア
ルのどこにも労働者の権利について
書いてありません。書いてあるのは、
社会の規律、マナーの大切さ、企業
の求める人材など。労働者の権利も
勉強していない子どもたちにこのよ
うな内容だけでよいのですか。マ
ナーの前に法律があつて、マナーつ
いていうのはその後でしょう。せめて
労働者の権利とか教えてから、職場
体験をしてはいかがですか。
答 時間的に厳しい面があつて、そ
ういうふうな学校現場はせざるを得
なくなっていると思っております。

問 劣悪な環境で働く非正規の労働
者が増え、一方、大企業で働く社員
も有給休暇を取得できず、サービス
残業をさせられ、過労死が問題にな
るこの日本という国は、先進国と呼
んでいいのでしょうか。子どもはう
ちからブラック企業から自分を守る
力をつけさせる教育が必要だと考え
ます。

(2) 学校エアコン設置について
問 ようやく小中学校等へのエアコ
ン設置の計画が示されましたが、平
成35年までの6年間も設置期間が
かかります。白里中や増穂中に通う予
定の今現在小学3年生以上の子は、
誰ひとり、エアコンの空調設備の恩
恵にあずかることができません。夏
のエアコンを一番必要としているの
は、受験勉強をしている中学校3年
生ではないですか。中学校から設置
すれば、より多くの子ども達も恩恵
を受けられます。中学校から順に設
置する考えはないですか。
答 快適な学習環境を整えることは
もちろんですが、熱中症対策など健
康管理という観点から、子どもたち
の体力面を考慮し、年少世代から優
先に幼稚園、小学校、中学校の順に
整備することとしました。

この日本という国は、先進国と呼
んでいいのでしょうか。子どもはう
ちからブラック企業から自分を守る
力をつけさせる教育が必要だと考え
ます。

問 ようやく小中学校等へのエアコ
ン設置の計画が示されましたが、平
成35年までの6年間も設置期間が
かかります。白里中や増穂中に通う予
定の今現在小学3年生以上の子は、
誰ひとり、エアコンの空調設備の恩
恵にあずかることができません。夏
のエアコンを一番必要としているの
は、受験勉強をしている中学校3年
生ではないですか。中学校から設置
すれば、より多くの子ども達も恩恵
を受けられます。中学校から順に設
置する考えはないですか。
答 快適な学習環境を整えることは
もちろんですが、熱中症対策など健
康管理という観点から、子どもたち
の体力面を考慮し、年少世代から優
先に幼稚園、小学校、中学校の順に
整備することとしました。

問 設置までの時間がかかり過ぎで
はないですか。また、同じ中学校や
小学校で、違う年度にやるのは市民
から理解を得られません。
答 教育委員会としても、一斉に整
備することが望ましいと考えています
現在の厳しい財政状況において、ほ
かにもさまざまな事業を進めていく
必要がありますので、幼稚園、小学
校、中学校へと計画的に進めていく
こととしたところです。しかしなが
ら、財政的に余裕が生じた場合など
には、前倒しで実施することも検討
してまいります。

ほかにもいろいろ事業があるとい
うことですが、私は子どもたちに投
資すること、これより優先すること
がほかに一体何があるのかと考えま
す。

問 劣悪な環境で働く非正規の労働
者が増え、一方、大企業で働く社員
も有給休暇を取得できず、サービス
残業をさせられ、過労死が問題にな
るこの日本という国は、先進国と呼
んでいいのでしょうか。子どもはう
ちからブラック企業から自分を守る
力をつけさせる教育が必要だと考え
ます。



黒須 俊隆 議員